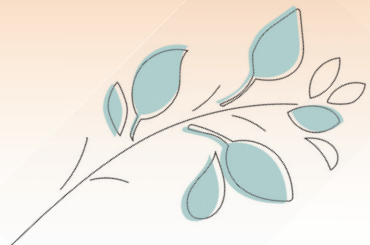


ひとりで悩まないで、ひとりじゃないから

認知症介護の

電話相談



曜日	月	火	水	木	金	土	日
開設	○	○	○	—	○	○	—

10:00~15:00 年末年始・祝日は休み

電話 **048-814-1210**

(電話料金のみご負担ください)

FAX **048-814-1211**

あなたの立場でご相談に応じます。

公益社団法人「認知症の人と家族の会」埼玉県支部では、認知症の人の介護に悩んだり戸惑ったりしておられる方を支援するため、電話相談を受けています。

ひとりには話せないような悩みごとやグチでも、介護経験のある「家族の会」の世話人がお話を伺います。どうぞお気軽に電話してください。若年性認知症についての相談は裏面をご覧ください。



この事業は、埼玉県・さいたま市の委託を受けて公益社団法人「認知症の人と家族の会」埼玉県支部が行っています。



認知症になっても安心して暮らせる社会を目指して



公益社団法人
認知症の人と家族の会
埼玉県支部 事務局

〒330-0061 さいたま市浦和区常盤3-12-17
日建プリムローズ常盤第3-1F
Eメール : afcdesai@circus.ocn.ne.jp

公益社団法人
認知症の人と家族の会

本部電話相談

0120-294-456
(月~金・10時から15時)

認知症の人と家族の会ホームページ➔



公益社団法人 認知症の人と家族の会

認知症になっても安心して暮らせる社会を

若年性認知症の相談は
若年性認知症サポートセンターへ

☎ 048-814-1212

月～金 9:00～16:00

FAX : 048-814-1211

E-mail : jakunen2017@sage.ocn.ne.jp



- 電話相談だけでなく、メールやFAX、来所や訪問による相談にも応じます。

「つどい」で仲間と交流する

認知症の人の介護はやってみないとわからない様々な困難があり、介護する人の悩み等はなかなか周りの人に理解してもらえない事も多くあります。

昭和50年頃、京都でぼけ老人の介護相談を受けていた先生方が、介護する家族の悩みや孤立感を知って、相談に来る人たちに呼びかけ、家族同士が体験を話し合う「家族のつどい」を開きました。こうして家族が互いに語り合い励まし合い、1980年「家族の会」が結成され、埼玉県支部は翌81年に発足しました。この「つどい」は、現在も同じ立場の介護者同士が共感し合いながら、仲間として交流・情報交換・悩みの相談の場として40余年来継続され、県内各地で開催しています。ただ今介護中の方は、是非一度「つどい」にご参加ください。

「会報」で学び いやされる

支部では、隔月で支部報「ふれあい」を発行し、会員の介護体験記や身近なニュース、支部活動の様子などを、つどいや行事に参加できない会員にも届けています。本都会報「ぼーればーれ」は認知症に関するニュース、介護保険情報介護のアドバイスなど様々な情報が満載されています。毎月会員に送られます。



認知症の人と家族の会 理念

認知症になったとしても、介護する側になったとしても、人としての尊厳が守られ日々の暮らしが安穩に続けられなければならない。認知症の人と家族の会は、ともに励ましあい助けあって、人として実りある人生を送るとともに、認知症になっても安心して暮らせる社会の実現を希求する。

悩みを「電話で相談」する

家族のことを誰にも話せない方や日中家をあけられない方も、電話で日頃の悩みを話すことができます。介護経験のある家族の会の世話人が電話を受け、お話を伺い、一緒に考えます。

また、埼玉県・さいたま市の委託を受けて実施している若年性認知症に関する相談は、左上をご覧ください。

同じ思いの仲間がいます

本人のケアと同時に、介護者の心の負担を軽くすることもとても大切です。ひとりで悩んでないで、つらい思いを話してください。

家族の会には同じような苦勞をしている仲間がいます。あなたも会員になって全国の会員の輪にお入りください。

入会案内

- 介護家族、認知症の人、保険・医療・福祉に関わる人、認知症に関心のある人など、どなたでも入会できます。
- 年会費：5000円(入会金なし)
自動的に本部・支部会員になります。
- 入会についてのお問合せ、お申し込みは、家族の会埼玉県支部事務局へ。